

2024年



平群平和のための戦争展

開催日時 **8月24日・25日(土・日)10～16時**

場 所 **平群町 総合文化センター**
くまがしホール・ホワイエ・中会議室1 など

近鉄生駒線平群駅下車 徒歩1分



平群平和のための戦争展
オリジナルキャラクター
「アースくん」

ウクライナでは今もロシアによる侵略戦争が続き、ガザではイスラエルによるパレスチナの人々に対する虐殺が続きます。一日も早く平和の実現をと平群町からも声を・願いを届けましょう。

日本が過去に起こした戦争の悲惨さや愚かしさ、人びとの悲しみを学び、感じ取り、今も起っている世界の戦争を知ることから「平和の大切さ」を考える機会にしましょう・・・

24日 プログラム

10:00 開会式 ホール

10:10 記念講演

13:00

平和のためのおはなし

14:00

映画会

ガラスのウサギ

15:30

おこりじそう

25日 10:00～16:00

展示・映画 ごゆっくり

14:00～ 映画

ガラスのウサギ・おこりじそう

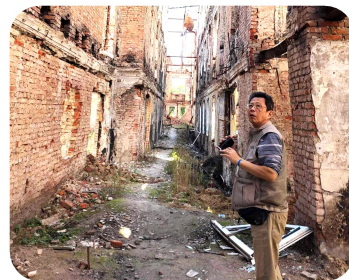


講演

ほしの さとし
星野 智 さん

「垣間見たウクライナと

私たちのできること」



講師紹介：生駒市在住 1952年生まれ 西成労働福祉センター退職後、市民運動・平和運動に関わり ロシアのウクライナ侵攻翌日、ロシア総領事館に抗議文をもっていく。以降、「ウクライナに平和を生駒」を立ち上げ、毎月のニュースの発行、運動を続けている。昨年10月、ウクライナ東部ハルキウを視察する。

主催 平群平和のための戦争展実行委員会

平群町職員労働組合 平群町社会福祉協議会職員労働組合

平群町平和委員会 新日本婦人の会平群支部

全日本年金者組合平群支部 個人参加委員

後援 平群町・平群町教育委員会

お問い合わせ：平群町役場 政策推進課 (0745) 45-1001



展示コーナー

■ 星野 智さん（講演講師）が見たウクライナの人々等写真

■ パレスチナ問題ってなに？

■ 原爆の実相パネル



■ 広島の高校生が被爆者の証言をもとに描いた原爆投下後の絵

■ 戦争時の遺品（平群町内外のみなさんから寄せられた貴重な

物や資料）から当時を生きた人々の生活・思いを想像しましょう・・・

■ 平群町内戦死者の墓碑調査

戦争展実行委員会が1基つつ調査した資料

平和をテーマにした絵本や書籍コーナー



平和のためのおはなし会

おはなしボランティアのみなさんが、「平和」を考える絵本や「紙芝居」の読み聞かせをします。どんな本を読んでももらえるかは当日のお楽しみに！

24日(土)13時 ～ くまがしホール内

平和祈願コーナー

世界中の戦争が1日も早く終わりますように！

核兵器も戦争もない世界を！

核兵器を抑止力に使わないで！

折り鶴を折りましょう！

平和への願いを書きましょう！



ホワイエ
展示スペース
中会議室1



24・25日
10時～16時



太平洋戦争時、青年男子の多くは、戦場に召集されました。働き手のなくなった職

場に女子挺身隊（じょしていしんたい）と言う名で女性が召集されました。また少年たちも駆り出されました。

こうしょう

■ 豊川海軍工廠（愛知県の弾薬や兵器を造る工場）へ行かされた平群の乙女達

■ 満蒙開拓青少年義勇軍として極寒の満州（北東中国）へ行かされた少年たち

映画

24日(土)25日(日)14時～15時20分

アニメ ガラスのウサギ



主人公敏子の母と妹二人を奪った空襲の焼け跡にはガラス工場を営んでいた敏子の父親が作ったガラス細工のウサギが熱風で歪んだ形で残っていた。その父も疎開する途中でアメリカ軍の機銃掃射に遭い、敏子の目前で命を落としてしまった。

児童文学者

高田敏子 作

作者が1945年3月10日未明の東京大空襲で家族を失った経験をもとに描いた児童文学をアニメーションに

ホールにて上映

人形アニメ おこりじぞう

被爆体験者山口勇子作

1945年8月6日、その朝6歳の誕生日を迎えたひろチャンはいつ

ものように近所の「笑いじぞう」の所に・・・8時15分、閃光と大音響、衝撃の中、市街は一瞬で破滅。ひろチャンは背中に大火傷を負いお母さんの名前を呼び、苦しみながら水を求めた。その時、「笑いじぞう」の顔は目の惨事に怒りの顔に変わり、その目からは涙が、水を求めるひろチャンの口元へ

